

令和５年度の国際理解推進事業について

1 オンラインを活用した中学生の国際交流

(1) 目的

オンラインを活用した中学生の国際交流を実施することで、幅広い生徒の多文化理解や国際理解を深める。

(2) 対象生徒

箱田中学校２年生（全４学級）と台湾中正國民中學２年生

(3) 実施日

令和６年３月５日（火）

(4) 交流方法

箱田中学校の４学級それぞれで５班を作り、計２０班編成として、
G o o g l e M e e tを活用

(5) 交流内容

班ごとにテーマを設定し英語で内容を発表し、質疑応答等を行い、交流を深めた。

2 絵画を活用した中学生の国際交流

(1) 目的

これまで中学生海外派遣・受入事業やオンライン交流を実施してきた大胡中学校と中正國民中學との新たな交流として、絵画の交流を行い、多文化共生への理解を図る。

(2) 対象生徒

大胡中学校と中正國民中學の生徒

(3) 実施時期

令和５年１０月～１２月

(4) 交流内容

両校とも２０～３０点ほどの作品をそれぞれ郵送し、双方の学校等で展示し、感想を送り合った。台湾生徒の作品は、大胡公民館や箱田中学校、まえばし学校フェスタでも展示を行った。

3 J I C A 出前講座を活用した中学生の国際理解教育

(1) 目的

幅広い生徒の異文化理解や多文化共生への態度や能力を養うことや開発途上国の現状を知り、自分の考えや意見を持ち、国際的な課題を身近なものとしてとらえる態度や能力を養う。

(2) 対象生徒・実施日

- ・富士見中学校 全校生徒 令和５年１１月１日（水）
- ・明桜中学校 １年生 令和６年２月１日（木）
- ・東中学校 ３年生 令和６年２月２９日（木）

(3) 実施内容

青年海外協力隊経験者による講演会

4 その他の国際交流事業

- ・A L Tを講師とした中学生対象の英会話教室の実施（学校教育課）
- ・市内小中学校における台湾献立の提供（総務課）